

事務事業名	学校給食調理業務等委託事業		所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	教育総務・給食グループ	課長名 安部 栄司
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	香川 みなみ	電話番号 0854-40-1071 (内線) 2271
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈079〉学校の施設・設備の充実		予算科目	0:1:5:0:0:3 3:0:2:5:1:2	大事業名 学校給食管理事業 中事業名 学校調理業務等委託事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習しやすい環境で学ぶ。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
雲南市内小中学校児童生徒、幼稚園児・こども園児、教職員、出雲養護学校雲南分教室生徒教職員	安全安心でおいしく魅力ある給食を提供することにより、成長期にある児童生徒、園児の心身の健全な育成と食育につながる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 □ 単年度のみ ■ 単年度繰返 (H23 年度～) □ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	市内3箇所の学校給食センター(大東、加茂、中央)の調理業務等について委託を行う。 【委託業務内容】 ①調理業務 ②配付及びコンテナへの積み込み業務 ③食器、食缶、調理機器及び輸送用コンテナの洗浄消毒業務 ④残菜の処理業務 ⑤施設・設備の清掃・消毒・点検業務及び敷地周辺の清掃 ⑥使用物品管理業務 ⑦衛生管理業務 ⑧食材の検収業務 ⑨ボイラー運転業務 ⑩前述の付帯業務
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 市内3センターから給食を提供する。 【委託事業者】 大東…(株)給食雲南 加茂…(株)共立メンテナンス 中央…(株)給食雲南	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 給食センター統合により令和元年8月から大東・加茂・中央学校給食センター調理業務等の委託(3年契約)を行い、委託調整会議で3センター間の調整をはかってきた。また、調理業務等委託評価委員会にて評価を行い、業務の質の向上に資することとしている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 異物混入、苦情件数(大東)	件	0	2	1	0
イ 異物混入、苦情件数(加茂)	件	3	5	6	0
ウ 異物混入、苦情件数(中央)	件	7	10	6	0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
委託料187,584,100円 (内訳) 大東…58,060,200円 加茂…38,909,200円 中央…90,614,700円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	122,713	187,585	187,584	188,082
	事業費計	千円	122,713	187,585	187,584	188,082

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	安全安心な給食を提供するため、衛生管理の徹底に努めることができた。異物混入が発生した際には、原因調査や今後の対応策の報告を委託業者へ求めている。今年度は昨年度より異物混入件数が減少した。今後も委託業者・給食センター、委員会間での連携を図っていきたい。
② 事業実施するうえでの課題	受益者からはより一層安全・安心で質の高いサービスを求められており、それに応えていくためにも引き続き行っていくべきものとする。
③ 課題解決に向けた改革改善等	平成22年度から実施した技能労務職の職種転換に伴い、平成23年度から大東・木次・三刀屋の3センターについて調理業務等を直営方式から委託方式へ変更した。今後も調理業務等委託評価委員会を通じた評価を行い、安全・安心で質の高い学校給食を提供していく必要がある。また、令和元年8月から木次・三刀屋・吉田・掛合地区については、中央学校給食センターに統合したことで調理業務等委託料のコストの削減が見込まれる。